

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 / 日

埼玉県知事  
大野元裕 殿



提出者  
住 所 埼玉県熊谷市上根102番地  
氏 名 田部井建設株式会社  
代表取締役 田部井俊一  
電話番号 048-588-1551

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

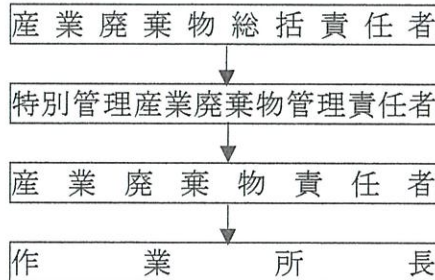
事業場の名称	田部井建設株式会社
事業場の所在地	埼玉県熊谷市上根102
計画期間	令和 <sup>5</sup> 年4月1日 から 令和 <sup>6</sup> 年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高 3,900,000,000円 (9月末決算) (令和3年10月1日 から 令和4年9月30日まで)
③従業員数	66名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【発生】 現場 → 本社資材置き場 (一時仮置) → 【処分】</p> <p>現場 → 収集運搬(業者へ委託) → 中間処理業者へ委託</p> <p>現場 → 自社運搬 → 本社資材置き場 (一時仮置) → 自社運搬 → 中間処理業者へ委託</p> <p>現場 → 自社運搬 → 収集運搬(業者へ委託) → 中間処理業者へ委託</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物発生量の少ない材料を選定し使用する		
② 計画	【目標】（令和 <sup>5</sup> 年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・資材の梱包にダンボールやビニール紐を使用せず搬入する方法を資材納入者に指導する ・鉄筋、型枠などの加工を工場で行い鉄くず、木くずを現場からの発生を抑制する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類は別紙-1のとおりで、産業廃棄物を排出する現場「産業廃棄物保管場所標識」を産業廃棄物保管場所に表示し作業員に分別の実施について指導する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類は別紙-1のとおりで、産業廃棄物を排出する現場は「産業廃棄物保管場所標識」「建設廃棄物等の種類と具体例」「建設副産物分別標識」を産業廃棄物保管場所に表示し作業員に分別の実施について現状を把握し再資源化率を増大するよう指導する

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> <del>3</del> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	- t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】（令和 <sup>5</sup> <del>4</del> 年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> <del>3</del> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】（令和 <sup>5</sup> <del>4</del> 年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度 ( <del>3</del> <sup>4</sup> 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 (令和 <del>4</del> <sup>5</sup> 年度)		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度 (令和 <del>3</del> <sup>4</sup> 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】(令和 <sup>5</sup> <del>4</del> 年度)		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 令和4年度実績値及び令和5年度目標値

	コンクリートがら		アスコンがら		その他がれき類	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	810.080	500.00	3,204.120	2,000.00	109.170	100.00
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	810.080	500.00	3,204.120	2,000.00	109.170	100.00
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理 委託量	810.080	500.00	3,204.120	2,000.00	109.170	100.00
認定熱回収業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0

	ガラス・陶磁器くず		廃プラスチック類		金属くず	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	8.200	5.000	13.1925	10.00	10.843	5.000
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	8.200	5.000	13.1925	10.00	10.843	5.000
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理 委託量	8.200	5.000	13.1925	10.00	10.843	5.000
認定熱回収業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0

令和4年度実績値及び令和5年度目標値

	混合(安定型のみ)		石綿含有産業廃棄物(安定型)		建設汚泥	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	0.000	0.00	2.140	1.000	0.270	0.100
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0.000	0.00	2.140	1.000	0.270	0.100
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理 委託量	0.000	0.00	2.140	1.000	0.270	0.100
認定熱回収業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0

実績(t) 4,155.61                      目標(t) 2,620.00

	紙くず		木くず		繊維くず	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	0	0.00	608.640	300.000	0	0.00
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0	0.00	608.640	300.000	0	0.00
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0		0	0	0
再生利用業者への処理 委託量	0	0.00	608.640	300.000	0	0.00
認定熱回収業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						



## 令和4年度実績値及び令和5年度目標値

	廃石膏ボード		混合(管理型含む)		石綿含有産業廃棄物(管理型)	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	34.150	15.000	73.840	50.000	6.140	3.000
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	34.150	15.000	73.840	50.000	6.140	3.000
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0.00	0	0	0	0
再生利用業者への処理 委託量	34.150	15.000	73.840	50.000	6.140	3.000
認定熱回収業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0

	廃石綿等		水銀使用製品産業廃棄物			
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	0.00	0.00	0.004			
自己再生利用量	0	0	0			
自己熱回収量	0	0	0			
自己中間処理減量化量	0	0	0			
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0			
全処理委託量	0.00	0.00	0.004			
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0			
再生利用業者への処理 委託量	0.00	0.00	0.004			
認定熱回収業者への処 理委託量	0	0	0			
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0			